マーケティングに基づいた、シティプロモーションやブランディングの推進

「Hirakata Urban City」オンライン・コミュニティ都市20万人！

【目標】

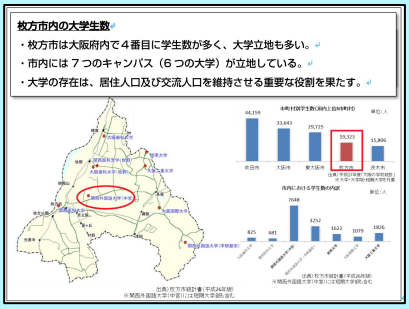
・シビックプライドの醸成により、魅力ある枚方市に
・定住促進、人口誘導につなぐ
・将来的な人口減の中でも、持続可能な枚方市に

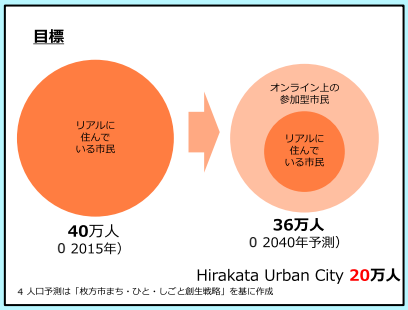
【そのために】

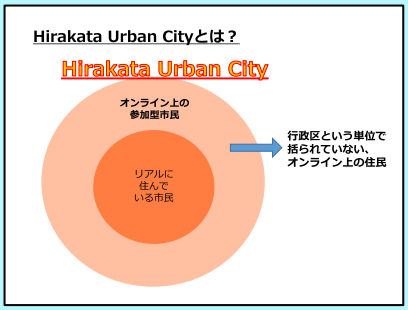
地域の魅力を大学生と再定義し、大学生を中心としたオンライン・コミュニティとしての新しい都市の魅力作りにスポットを当て、それを発展させる仕組みを考案。毎年増える大学生という独自の魅力を生かすことが地域の最大の使命である。

【効果】

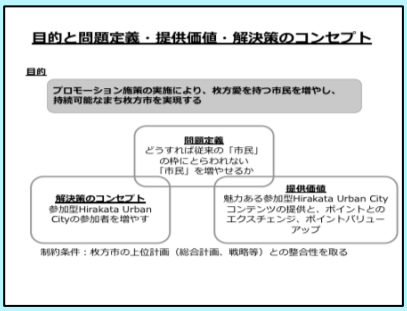
2035年に「Hirakata Urban City」で20万人の市民を形成できるようにする。また、大学生が中心になった若いまちであり、相互が関わり合う街を目指す。

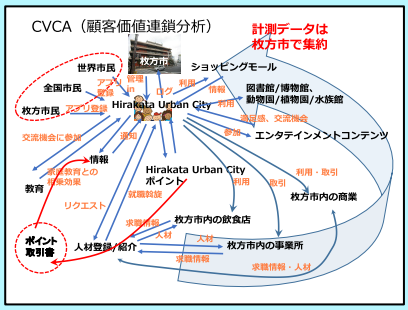






枚方市の大学に通う大学生の課外活動に枚方市が支援するオンライン・コミュニティの場を形成し、“愛着”の醸成から卒業後(転居後)もオンライン住民として“住み”続けてもらう。

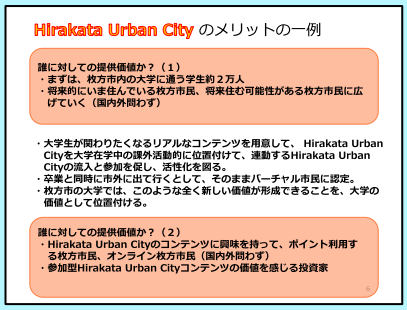




オンライン・コミュニティを利用する上でポイント制を導入し、ログインポイント付与から枚方ソーシャルネットワークサービス投稿ポイント、地域ボランティアポイント等参加することでポイントを付与する。同時に貯まったポイントは、枚方市内の提携ショップ(飲食店、書店・CD・DVD・レンタル店、アミューズメント施設等)での使用、また、枚方ネットポイントエクスチェンジで円に交換できるようにする。
この枚方市のオンライン・コミュニティは、当事者が卒業後も貯めたポイントを引き継いだ“オンライン住民”としてそのまま在籍することで枚方市内の大学生・卒業生を増やして拡大させる。卒業後にも在籍する意義を持たせることについては、その中で繋がった学生仲間の交流の場と発展させ(枚方学生OB会)、また枚方市側から卒業後も、現役学生へのメンターとしての課外活動サポート、地域課題解決、ボランティア募集、仕事募集、起業サポート、枚方観光案内・エンタテインメント案内、ふるさと納税案内等を積極的に情報提供することで行政と住民との関わりを継続させる。

Hirakata Urban City のメリットの一例

提供価値
ポイント（サービス利用・コンテンツ利用との交換）
ポイント（投資）
起業支援／ワークスペースから各種起業サポート
ビジネスマッチング
職業案内／紹介／体験／インターンシップ
オンラインスクール入学／学校体験
行政サービスのネット提供
ショッピングモールでお買い物
オンライン施設（テーマパーク/動物園/水族館/植物園）
オンラインコンテンツ（映画／音楽／演劇）



Hirakata Urban City のメリットの一例

誰に対しての提供価値か？（１）
・まずは、枚方市内の大学に通う学生約２万人
・将来的にいま住んでいる枚方市民、将来住む可能性がある枚方市民に広げていく（国内外問わず）

・大学生が関わりたくなるリアルなコンテンツを用意して、 Hirakata Urban Cityを大学在学中の課外活動的に位置付けて、連動するHirakata Urban Cityの流入と参加を促し、活性化を図る。
・卒業と同時に市外に出て行くとして、そのままバーチャル市民に認定。
・枚方市の大学では、このような全く新しい価値が形成できることを、大学の価値として位置付ける。

誰に対しての提供価値か？（２）
・Hirakata Urban Cityのコンテンツに興味を持って、ポイント利用する枚方市民、オンライン枚方市民（国内外問わず）
・参加型Hirakata Urban Cityコンテンツの価値を感じる投資家

Hirakata Urban City 効果をどのように測るか？

項目	効果指標	使用データ・取得方法
Hirakata Urban City ポイント	使用者数と価値	システムから抽出
ポイント利用のビジネスマッチング	マッチング結果数、ポイント数	集計結果
ポイント利用の起業相談	相談数、ポイント数	集計結果
Hirakata Urban Cityからの就職時の優先的斡旋	枚方市内で就職した人数	学生・事業者アンケート調査報告書
市内コワーキングスペース優先利用権	利用者数	施設で取得するデータ
Hirakata Urban City ポイント使用でのコンテンツ利用	コンテンツ利用数、ポイント数	集計結果
枚方市民数	住民基本台帳	住民基本台帳確認
枚方市の魅力度	地域ブランド調査	地域ブランド調査結果

このようにオンライン・コミュニティを通して、本来の住民登録された枚方市民だけではなく、コミュニティ上に参加登録されている方々をバーチャル市民と認定し、そのオンライン・コミュニティを「Hirakata Urban City」(仮称)として位置付ける。言わば行政区単位ではないこれからの都市創りを目指す。大学卒業生が地方や海外(外国人の方もおられる)に行かれても「Hirakata Urban City」(仮称)市民として形成され、その数はどんどん増える。